

令和6年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる
「共同研究班」 研究報告書

令和7年4月30日現在

研究課題名	スラブ・ユーラシア地域と世界経済		
担当者	氏名	所属機関・職	
	服部倫卓	スラブ・ユーラシア研究センター 教授	
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	松澤祐介	西武文理大学・教授 (1月末まで) 静岡大学・准教授 (2月～3月末)	中欧諸国の経済政策（金融政策、 交通政策）、銀行制度・金融市場
	研究テーマ		
	中東欧経済と世界経済		

研究成果の概要

ロシアによるウクライナ侵攻、米国におけるトランプ政権の復活などで、世界経済に大きな動揺が広がる中で、中東欧経済がどのような変容を遂げているのかというテーマを設定し、共同で研究を進めた。服部が主にウクライナ・ロシアを中心とする旧ソ連地域を、松澤が主にスロヴァキアを題材にとり EU 圏の中東欧を担当するという分担で研究に取り組んだ。その結果、以下のような現実を把握することができた。

近年の中東欧経済は、地政学的な緊張や世界的な経済変動の影響を強く受けるとともに、国ごとに異なる様相を示している。スロヴァキアとウクライナに関しても、やはり両国の経済は異なる課題と機会に直面している。

スロヴァキアは、ユーロ圏に属し、EU との経済的結合は深い。自動車産業を中心とした製造業が経済の基盤を形成しており、フォルクスワーゲン、起亜、プジョーなどの工場が進出している。2020 年以降のコロナ禍ではサプライチェーンの混乱が影響したが、2022 年以降は回復傾向にある。ただし、エネルギー価格の高騰やインフレが家計と企業に圧力をかけ、経済成長率は高くない。また、グリーンエネルギー投資への対応が重要な課題である。

一方、ウクライナ経済は、2022 年 2 月のロシアによる全面侵攻以降、深刻な沈滞に見舞われている。インフラの破壊、人口の流出、農業・工業の生産低下が生じている。欧米諸国からの経済支援や IMF による支援プログラムが実施され、また軍需生産が伸びることで、2023～2024 年には一定の持ち直しの兆しも見られたが、本格的な回復には程遠い。復興が課題となるなかで、再建投資やエネルギーインフラの近代化、デジタル化の推進などが注目されている。IT 分野は戦時下でも比較的高い競争力を維持している。

両国に共通するのは、EU や国際社会との連携が今後の経済再建・成長にとって鍵となるという点である。スロヴァキアは EU 内部での政策協調を通じた安定成長を目指し、ウクライナは EU 加盟を視野に入れた改革と再建を進める必要がある。中東欧全体としても、地政学的リスクとエネルギー安全保障、デジタル化・脱炭素化といった課題にどう対応するかが、今後の経済の方向性を左右する重要な要因となる。

以上のような共同研究の成果を披露する形で、スラブ・ユーラシア研究センターが 2025 年 2 月に開催した特別連続セミナー「2.24 から 3 年を経たスラブ・ユーラシア世界」において、服部が「ロシア・ウクライナ経済のレジリエンス」と題する報告を、松澤が「中欧の小国開放経済とウクライナ戦争 —スロヴァキアの『親ロシア』のコンテクスト」と題する報告を行った。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

【服部】

- （吉田睦氏との共編著）『ロシア極東・シベリアを知るための 70 章』明石書店（謝辞無）
- 「ロシアのウクライナ侵攻を受け中欧班列に生じた異変」『比較経済研究』62（謝辞無）
- 「ダイヤモンド：制裁で交錯するグローバルとローカル」（田畑伸一郎（編著）『ロシア北極域経済の変動 —サハ共和国の資源・環境・社会』北海道大学出版会（謝辞無）
- 「EU と敵対するルカシェンコ体制のベラルーシ」「ウクライナから EU に向かう移民・避難民」「ベラルーシの移民・難民と同国を経由する中東難民」羽場久美子ほか（編著）『EU 百科事典』、丸善出版（謝辞無）
- 学会発表：How Far Has Russia's 'Turn to the East' Advanced? —Reality as Indicated by Russian Merchandise Trade Statistics, Association for Slavic, East European and Eurasian Studies (ASEEES), Boston (2024.11.23)

【松澤】

- 「ヴィシエグラード 4 か国経済予測」『TRANSIT』67 号、講談社（謝辞無、肩書には本務校に加え、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員の記載あり）

当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）

特に無し

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。